

[001]九州大学大学文書館研究紀要表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7411150>

出版情報：九州大学大学文書館研究紀要. 1, 2026-03-31. Kyushu University Archives
バージョン：
権利関係：



創刊の辞

九州大学大学文書館は、一九九二年に設置された大学史料室を前身として、二〇〇五年に発足しました。二〇一一年には「公文書等の管理に関する法律」に基づき、内閣総理大臣より「国立公文書館等」に指定され、現在に至っています。

当館は、九州大学に関わる法人文書等の資料を収集、整理、保存、公開し、大学及び大学の歴史に関する調査研究を行うとともに、その資料を学生、職員その他一般の利用に供することを目的とし、これらの諸活動を行ってまいりました。これまで『九州大学大学文書館ニュース』『九州大学大学史料叢書』を定期的に刊行してきましたが、このたび『九州大学大学文書館研究紀要』を創刊することといたしました。

九州大学では二〇一七年に『九州大学百年史』の全巻の公開を完了しましたが、その後も九州大学史に関する研究は、当館を中心に進展を見せております。また、アーカイヴズ学に関する研究も、大学アーカイヴズという特性に関わる内容を中心として進めてまいりました。こうした研究の成果は、当館教員が、本学基幹教育科目

「大学とは何か」「九州大学の歴史」等の授業や、大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻でアーカイヴズ学分野を担当することなどにより、教育にも還元しております。

しかし大学史料室設置以来、研究成果を公開する場としての紀要を刊行することはありませんでした。遅きに失したところもあるかもしれませんが、他の大学アーカイヴズと同様に、当館関係者による大学史およびアーカイヴズ学に関する論文等を公開する紀要を刊行することとした次第です。本紀要を通じて当館の研究成果を広く知っていたくことにより、大学史・アーカイヴズ学両分野の研究の発展に貢献していきたいと考えております。今後ともみなさまからのご叱正、激励を賜りますれば幸甚に存じます。

二〇二六年三月

九州大学理事・副学長 九州大学大学文書館長

岩田健治